

11403電子機器用・通信機器用部品製造業における死傷災害100事例まで（2019年）

No	年	月	発 生 時	死傷災害事例	年 齢	事 故 の 型	起因物 (小)	労働 者規 模
1	2019	1	18 ～ 19	終業後、帰宅のため駐車場へ向かう途中、路面凍結により足が滑り転倒し、右大腿部・膝を負傷した。	33	2	417	500 ～ 999
2	2019	1	18 ～ 19	成膜装置から製品基盤（約1kg）の抜き取り作業中、腰に違和感があり、腰を負傷した。	47	19	911	500 ～ 999
3	2019	1	14 ～ 15	敷地内で自社トラックから荷降ろしをしているときに、トラックゲートのストッパーを確認せず、ロック解除した状態となっており、荷物でいっぱいのカゴテナーとともに地面に落下し、体の右側面を強く打ち、親指、足首、腰、首を負傷した。	49	1	221	50～ 99
4	2019	1	20 ～ 21	夜勤のため出勤し2階にある更衣室で作業着に着替え、作業場のあ る1階へ階段で下りるときに、最後の1段を見誤り、着地するとき に右足首をひねり骨折した。	36	1	413	100 ～ 299
5	2019	1	9 ～ 10	組み立て作業場所を移動しようとして、足下にあった台車に気付 かず足を踏み出したため、足に台車が引っ掛かり転倒した。その 際に、右肩を骨折した。	60	2	362	300 ～ 499
6	2019	1	6 ～ 7	会社駐車場にて車に向かって歩いていたら氷で滑ってしま い、体勢を立て直そうとしたところ、もう片足も滑ってしまい、 背中から転倒して肋骨を折った。	50	2	719	100 ～ 299
			15	プレス機の金型内への素材セット作業にて、金型のミスフィード センサーが作動し、プレス機が自動停止した。素材を正常位置に				1000

7	2019	1	16	戻し、プレス機を再稼働させるため、プレス機の向かい側に設置されている操作盤のリセットボタンを押そうと移動した際、金型セット台車の位置決めレールを踏み、右足首をひねり受傷した。	55	19	417	～ 9999
8	2019	1	5 6	立ち見検査を実施中に、欠点品の可能性があった製品をOK品としてコンベアに流したことに気がついた。確認するために稼働中の装置内に侵入した。産業ロボットが製品をピックアップしパレットに移載する通り道であったため、移載中のガラスと左目が接触し、左目眼球が破裂し、上瞼に切創を負った。	20	6	529	50～ 99
9	2019	2	11 12	ブレーカ機能試験ラインにて、過電流特性試験電極が動作中に、試験対象商品のブレーカのセットミスに気付き、とっさに左手でブレーカを取り出そうとした。その際、試験電極とブレーカの間 に左手中指を挟み骨折した。	44	7	169	500 ～ 999
10	2019	2	13 14	クリーンルームで装置のメンテナンス作業中、作業場所が狭かった ので、のけ反るような姿勢で作業していたところ、右脹脛を負傷した。	50	19	921	1000 ～ 9999
11	2019	2	16 17	縦型成形機にてプラスチック機に金具を入れプレスする作業中、 金具を落としたため、座っている状態で、左手で拾おうとして、 成形機の台座が正面にスライドしており、右手を挟まれて負傷した。	24	7	164	1～9
12	2019	2	22 23	従業員玄関にて、勤務終了後、構内の車道を横断中、駐車場から 車が減速せず右折してきた際、車両フェンダー・ドアミラーに接 触して勢いで飛ばされ、右手をつき尻から転倒し、背中と頭部を 地面に打った。その際、頸椎・右肩関節・右手関節・右大腿部・ 右足関節を負傷した。	27	6	231	300 ～ 499
13	2019	2	8 9	当社工場内で、現像機の槽内洗浄後、側面の蓋を閉めるため、蓋 を取りに行き戻す途中、作業台（高さ約65cm）を歩行中、足が 滑ったため、踏み外し転倒した際、脇にあった新液タンクに背中 をぶつけ、負傷した。	51	2	416	10～ 29

14	2019	2	10 ～ 11	クリーンルームで使用するシューズの、クリーニング済みのものが納品され、シューズが入った箱を移動するため持ったことが原因で、第三腰椎が骨折した。	41	19	921	100 ～ 299
15	2019	2	9 ～ 10	工場で製品のプレス作業中、プレス機から外れない製品があったため、プレス機を止めずに手を入れたところ、左手中指を挟み挫滅創を負った。	40	7	154	50～ 99
16	2019	2	21 ～ 22	端面処理機のメンテナンス作業中、ギアを左手で支えながらハンマーでギアを叩いていたところ、一瞬よそ見をしてしまい、誤って左手親指を叩いてしまい、左親指の骨にヒビが入った。	57	4	364	30～ 49
17	2019	2	12 ～ 13	食事をとるため4階事務所から階段を下りる途中、足を踏み外して前方の壁に顔面から激突し、頭部と頸部を負傷した。	47	1	413	1000 ～ 9999
18	2019	2	17 ～ 18	施設内にて、女子ロッカーから階段で下りる際、階段の下段付近で右足の踵が1段滑り、右側に体がひねり、右足首の靭帯を損傷した。	42	19	413	10～ 29
19	2019	2	12 ～ 13	作業現場にて、昼休憩のため移動中、現場通路に固定し敷いてある静電シート（横700mm×縦880mm×厚2mm）につまずき転倒し、右腕を骨折した。	45	2	379	50～ 99
20	2019	2	3 ～ 4	出張で宿泊中のホテルにて、夜間に手洗いに行くため立ち上がり、椅子に足が引っ掛かり、顔面から床に転倒した。その際、額と脊髄を負傷した。	56	2	379	300 ～ 499
21	2019	2	23 ～ 24	事業所内で、プレス材料運搬中、重い荷物（60kg）を3人で持ち上げた際、腰を捻挫した。	27	19	521	100 ～ 299
22	2019	3	7 ～ 8	工場にて、台車側面から押して移動する際、台車が傾き、倒れないよう左足で支えたが、耐え切れず、左足上に倒れ、左足が挟まれ骨折した。	33	5	362	1000 ～ 9999

23	2019	3	23 ～ 24	プレス作業場にて、プレス機冷却水の圧力点検を行うため移動中、配管につまずき転倒した。その際、床に膝を強打し、プレス機付帯設備のフレーム部分に顔面を強打し、鼻骨を折り、左膝を打撲した。	59	2	391	50～ 99
24	2019	3	9 ～ 10	金属加工用機械でチップを研磨して、商品を回収しようとした際に、機械の回転が停止していなかったため、左手親指を挟み、切創を負った。	26	7	159	100 ～ 299
25	2019	3	13 ～ 14	基板の入ったラックを移動するため持ち上げた際に左手を滑らせ当該ラックが右手内側に強く当たり、右腕を打撲した。	28	3	362	500 ～ 999
26	2019	3	10 ～ 11	工場内でねじ山の造形作業中、集塵機に吸い込まれそうになった成形品を止めようとしたとき、タッピングマシンのドリルと固定していたM字ブロックに指を挟み負傷した。	22	7	159	100 ～ 299
27	2019	3	11 ～ 12	バイパス交差点を自転車で直進しようとしたところ、左折してきたトラックに巻き込まれ、右足が下敷きになったまま引きずられ、右足を骨折した。	52	17	221	50～ 99
28	2019	3	14 ～ 15	工場内プレス加工場にて、プレス機で金属製品をプレスして電子部品を製造中、金型の部品が正しい位置からずれていたため右手で直そうとした際、金型内部に右手母指が挟まって先端を切断した。	51	7	154	10～ 29
29	2019	3	10 ～ 11	ロボットアーム自動機を使用してSPコイルをロアケースに圧着作業中、圧着部に左手人差し指を挟み骨折した。	22	7	167	100 ～ 299
30	2019	4	9 ～ 10	段ボール2箱を重ねて移動中、1段目が崩れ、落ちた箱を足で押しながら移動していた際、つまずき前のめりに転倒し、床に手をつき、右手指を脱臼した。	63	2	417	30～ 49
			12	工場内を歩行中、高さ10cmの台に上がった際、右足を踏み外し、				50～

39	2019	5	10 ～ 11	プリント基板投入機に、私物の携帯電話を落下させてしまい、機械の停止ボタンを押して装置に手を入れて取り出そうとしたところ、実際は装置が稼働していたため、右上腕部分が巻き込まれ負傷した。	51	7	169	300 ～ 499
40	2019	5	8 ～ 9	スポーツ交流広場でソフトボール大会があり、守備でレフトを担当、初球に飛んできたファールボールを取りに走ったとき、右足太腿に痛みがあり、肉離れと診断された。	34	19	921	10～ 29
41	2019	5	6 ～ 7	工場内にて、基板数枚を基板立てに立てて検査機へ運搬中、扇風機の脚に引っ掛かり転倒し、両手が塞がれた状態で右肘を強打し、基板立てと自分の体で左中指を挟み、右肘を挫傷し、左中指を打撲した。	42	2	391	50～ 99
42	2019	5	2 ～ 3	印刷機に作業治具をセットし装置内に手を入れる際、治具固定枠昇降チェーンが切れ落下し、右上腕を挟み、右上腕を骨折した。	56	7	166	100 ～ 299
43	2019	5	7 ～ 8	2階休憩室にて、1階へ下り作業現場へ向かう途中、残り2段目で足を踏み外し足首をひねり右足首を骨折した。	58	19	413	100 ～ 299
44	2019	6	10 ～ 11	製造室で金属製のケース24個入りの箱を台車で運び、台車から箱を下ろそうと持ち上げたとき、腰全体に痛みが走り捻挫した。	41	19	611	10～ 29
45	2019	6	10 ～ 11	社内機械室にて、収縮チューブの切断作業中、チューブが機械に詰まり、解除しようと電源を落としたつもりが、機械可動部へ手を入れた際、右手指を機械可動部に挟み切創を負った。	40	7	169	10～ 29
46	2019	6	9 ～ 10	トイレから出て、段差で高くなっている床が、濡れて滑りやすくなっていて、踏み出した右足を滑らせ、膝をひねり、右足膝靭帯を損傷した。	43	2	417	300 ～ 499
			11	台車に載せた金型をプレス機へセットする際、ローラーを下げ忘				100

47	2019	6	～ 12	れたため、金型が滑りやすり状態だった。そのため金型が台車から滑り、台車や手で押さえようとしたが、金型が落下して右足甲部を負傷した。	40	6	361	～ 299
48	2019	6	～ 12	11 工場内にて、円形の製品を作業台から別の作業台へ移す際、作業台が地面より約1mの高さにあるため、腕の力だけで持ち上げらず腰を痛めた。	24	19	612	50～ 99
49	2019	6	～ 18	17 休憩時間中、休憩所へ向かうために階段を下りていたところ、左足のつま先が最終段の滑り止めに引っ掛かり、体勢を崩した状態で着地して左足首を捻挫した。	23	1	413	1000 ～ 9999
50	2019	6	～ 10	9 生産装置から取り外した部品を持ち、トイレに入り手洗い場の台上で部品が破裂した。その際、下顎・左手指・左頬を負傷した。	47	15	521	100 ～ 299
51	2019	6	～ 21	20 施設内にて、夜勤出勤時、静電靴の静電チェックをする際、通路が薄暗く見にくいいため、誤って静電チェック足載せ台中央の仕切（高さ2cm）を踏みバランスを崩した。その際、右足首を捻挫し、静電チェックの上部に胸を強打して肋骨を折った。	40	2	391	100 ～ 299
52	2019	7	～ 15	14 組立ライン横の通路で部品の供給を行うため、運搬作業をしていた。運搬台車が旋回できない場所があったので、台車をバックで押していた。T字路で右旋回を行っているときに、通路外にはみ出し、ライン側の作業指示書立てに右足を引っ掛け、体勢が崩れ、右足踵を骨折した。	40	19	921	1000 ～ 9999
53	2019	7	～ 5	4 分断工程で隣接する分断装置間を15枚基板入り発泡を移動中に発生した。発泡の移動は本来PPバンドを固定した上で行うが、隣の装置への移動距離が短いのでPPバンドを固定せずにそのまま移動した。その際、発泡の底が抜けて基板が右足の甲に落下し、骨折した。	60	4	611	100 ～ 299
54	2019	7	～	11 製品筐体を倉庫に移動中、水はけ用の溝に台車のタイヤが挟まり、筐体が倒れ支えようとして地面と筐体の間に指を挟み右手人	42	7	362	100 ～

			12	差し指、中指、薬指に裂傷を負った。				299
55	2019	7	9 ～ 10	当社作業場で製品材料である金属箔のフィルムを点検作業中に、 右手小指を切り右手第5指に挫創を負った。	33	8	521	10～ 29
56	2019	7	8 ～ 9	就業場所の入口から点灯していない薄暗い通路を通り、奥の作業 場の自席に移動中、倉庫室前の床面に置かれていたパレットに右 足を引っ掛けて転倒、右足太腿の打撲と、右肩の捻挫を負った。	49	2	379	100 ～ 299
57	2019	7	12 ～ 13	工場内で2階から1階へ階段を下りる際、段を踏み外して滑り落 ち、右肘と左膝に打撲を負った。	36	1	413	10～ 29
58	2019	7	10 ～ 11	工場内通路にて、事務所向かい歩行中、事務所入口に敷いてあ る粘着式のクリーンマットが滑り、転倒しそうになり左手をつ き、左橈骨を折った。	59	2	417	10～ 29
59	2019	8	16 ～ 17	リール取り付け装置にセットする実装部品を掴もうとした際、通 路上の配線ダクトのカバーで足が滑り、右足首をひねり捻挫し た。	56	3	418	1000 ～ 9999
60	2019	8	10 ～ 11	構内クリーンルームにて、事前棚卸作業中、製品棚の下から2段目 の棚から検移表を取り出し、照合作業をしようと棚の右端へ移動 するため方向転換し、右足を一步前に踏み出した際、右足踵で無 塵服の右裾を踏んだことで右足が前に滑り、仰向けに転倒して腰 を強打し骨折した。	59	2	417	500 ～ 999
61	2019	8	14 ～ 15	工場内にて、電機基盤が入ったコンテナボックス（15～20kg）を 運搬中、持ち上げた際に腰を負傷した。	35	19	611	100 ～ 299
62	2019	8	8 ～ 9	クリーンルーム内にて、装置の置場（高さ140cm）から製品を取 り、体全体を伸ばした際、腰を負傷した。	41	19	921	500 ～ 999

71	2019	9	8 ～ 9	受験のため、会場に歩いて向かっていたとき、左足が床につまずきバランスを崩して床に転倒し、左大腿を骨折した。	40	2	417	500 ～ 999
72	2019	10	14 ～ 15	工場内で、鉄板を曲げる作業中、小さな金具を曲げているとき、作業台から金具がずれた。その際、ずれたものを押さえようとして、体勢が前になったとき、誤って機械のペダルを踏んでしまい、両手指を負傷した。	43	7	154	1～9
73	2019	10	16 ～ 17	当工場敷地内で別の作業場所に移動途中、つまずき転倒の際、右肘を負傷した。	48	2	417	10～ 29
74	2019	10	4 ～ 5	車庫で頸部圧迫により、縊死していた。	43	90	921	100 ～ 299
75	2019	10	8 ～ 9	夜勤作業中、モールド装置でフレーム供給詰まりが発生した。安全カバーを開け、詰まったフレームの処置を行った。完了直後作動を開始したため、処置を行っていた左手が運送ローダーとレールの間に挟まれ、左手を負傷した。	21	7	169	—
76	2019	11	17 ～ 18	自家用車で帰宅するため従業員駐車場に向かい、通行禁止エリアの通行止めロープ（高さ約30cm）を跨いで越えようとしたとき、ロープに引っ掛かって転倒し、左足を骨折した。	43	2	417	50～ 99
77	2019	11	12 ～ 13	当社5号館1階フロアを歩行中、段差5mm程の増床した継ぎ目のカバーでつまずき転倒し、左膝を負傷した。	48	2	417	100 ～ 299
78	2019	11	7 ～ 8	出張先ホテルから工場へ車で向かう途中、コンビニに立ち寄り昼食を購入後、コンビニから出ようとしているときに意識が混乱し、ギアをバックに入れてしまい後ろの車に衝突した。そのときの事故によるケガはなかったが、意識はあるが会話がちゃんとできない状態で、原因は脳出血によるものだった。	54	17	231	10～ 29

79	2019	11	15 ～ 16	工場内で、約80kgのクリーンブースを運搬台車に載せて運搬していた。2名が前方、被災者を含む2名が後方で、クリーンブースの脚を直立状態で支えて、障害物を避けながら約30m運んだところ、頸椎と腰椎を捻挫した。	49	19	362	1000 ～ 9999
80	2019	11	19 ～ 20	廃棄物を積み運搬中、カゴテナー内の積載量は満載、進行方向も見づらい状況であり、重量もあったため、廃棄物置き場前の路面のわずかな傾斜によりカゴテナーが動き出した。そのため、それを抑えようとカゴテナー側面へ回り込んだ際、側溝横の段差に車輪が引っ掛かり、バランスを崩し横転したカゴテナーが左足甲部に当たり受傷した。	44	6	362	1000 ～ 9999
81	2019	12	14 ～ 15	工場の屋外階段を移動中、水質調査のために持っていた、簡易PH計のケーブルに足が絡まって転倒し、頭部を打撲し、鼻骨と右肘を骨折した。	53	2	379	500 ～ 999
82	2019	12	21 ～ 22	製品を載せた台車の運搬を行っていた。リフトを利用し台車を進路通路から下ろし、リフトから台車を引き込もうとしていた際に、左足を台車で引いてしまい、負傷した。	21	7	362	300 ～ 499
83	2019	12	9 ～ 10	水モップで床を掃除中、滑って床に左手をつき、左手首を骨折した。	62	2	416	10～ 29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害100事例まで \(2019年\)](#)に戻る。